

発信者によるコンテンツ登録・流通制御型ポータル構成方法

中渡瀬 秀一[†] 牛島 浩一[†] 佐藤 哲司[†]

コンテンツ発信者があるコンテンツ登録・流通を制御できるようなポータルシステムの構成方法について提案する。本システムでは発信者がコンテンツの登録だけでなく、その更新や削除も明示的に制御ができ、またコンテンツの公開レベルや検索のための属性を設定し編集が可能という特徴を持つ。本稿ではこのポータルシステムの機能について説明し、開発したプロトタイプ的设计と実装について述べる。

Web Publishing and Portal Site System Based on Author's Control

HIDEKAZU NAKAWATASE,[†] KOUICHI USHIJIMA[†] and TETSUJI SATOH[†]

In this paper, we propose a portal system that makes it possible to publish contents based on author's control. The feature of this system is to control of access level, registration, deletion and modification of contents and to edit attribute of contents by the author. We describe the requirements for this portal system and explain the functionality. We present our prototype of this system.

1. はじめに

近年、計算機とインターネットの普及、この環境の中に蓄積される電子文書の増大によって、これらへのアクセスを通じて様々な情報を入手して活用ができるようになってきている。我々はこの環境における情報流通を促進するための研究を行っている。情報流通を促進させるためには、例えば情報（ファイル）蓄積を容易にすることや新しく蓄積された情報が直ちに検索可能な状態になること、また情報の発信者がそれらをどのように公開するか制御できることなどが重要である。そこで我々はこれらのような視点に基づいて情報流通を支援するシステム（以下、ナレッジポータルと呼ぶ）を開発した。本稿ではこのシステムについて説明する。

以下、第2章では発信者によるコンテンツ登録・流通制御を特徴とするポータルであるナレッジポータルについて説明し、第3章ではナレッジポータルの設計と実装について述べ、第4章では関連研究として類似システムを挙げそれとの比較を行う。最後に第5章で今後の予定とまとめを述べる。

2. ナレッジポータル

2.1 目的

インターネットとその上で提供されるWWWをはじめとするサービスは、今日世界に広く普及し、情報流通において大きな役割を果たしている。WWWにおける情報流通では、情報の発信者は自ら作成したコンテンツをWWWサーバを通じて、ネットワークからのアクセスを可能とし、一方情報利用者はいくつかの手段で、このネットワーク上のどこに所望のコンテンツがあるのかを探し出し、これを入手して利用する形態をとる。

したがってこの枠組みにおける情報流通を促進するためには、次の各側面においてその効率化、高機能化に有効なシステムが求められる。

- 情報登録
簡易なファイル登録、ファイル属性の入力支援や自動化
- 情報鮮度
情報発信者がファイルを登録後、直ちに情報利用者がそれを検索できること、またファイルの更新や削除があればそれが検索結果に直ちに反映されること。これらのことを情報の鮮度と以下では呼ぶ。
- 情報検索
全文検索やその他、多機能検索。

[†] 日本電信電話株式会社 NTT サイバースペース研究所
NTT Cyber Space Laboratories, NTT Corporation